KIZUNA

東海村社会福祉協議会が目指すもの

かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくり

東海村社会福祉協議会だより
2025.5.25　Vol.115

Tokai Vol. Council of Social Welfare

特集

多文化共生社会に向けて
～認め合う・支え合う地域づくりの実現のために～

ホームページ

特集

『多文化共生』

多文化共生とは、「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的ちがいを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」(総務省：多文化共生の推進に関する研究会報告書) を言います。日本人も外国人も、地域の一員として共に認め合い、互いに力を合わせながら、社会を発展させていこうという考え方です。

今号では、「多文化共生」をテーマに、多文化共生社会を実現するために、自分たちにできることはなにかを一緒に考えます。

INTERVIEW

現在、東海村で暮らしているIvan Lobzenko（イヴァン　ロブゼンコ）さんと、日本語支援を行っているボランティア登録団体の「Tokai JLT にほんご教室」にインタビューしました。

Q 出身はどちらですか。

A ロシアです。

Q 日本（東海村）に来た理由は何ですか。

A 研究員の仕事の都合で来日しました。名古屋市での3年間を経て、現在は東海村で生活しています。

Q 太鼓をはじめたきっかけやボランティア登録団体の「東海太鼓保存会」に加入するきっかけは何ですか。

A 名古屋市で開催された太鼓グループが演奏するお祭りを見て、自分でも演奏したいと思って太鼓の演奏を始めました。その後、「東海まつり」で山車に乗って小太鼓の演奏に参加したときに、「東海太鼓保存会」の演奏を見て興味を持ちました。その日のうちに団体の方に声をかけ、活動紹介のチラシをもらったことが団体に入るきっかけになりました。

▲Ivan Lobzenkoさんの取材の様子

Q 地域の人との交流はありますか。

A 子どもを通して、自然に他の保護者と公園などでお互いに会話をする機会が増えました。親の立場になると、子どもにさらに優しくなると感じました。

和太鼓の練習の様子▶

Q 多文化に触れて感じたことはありますか。

A 名古屋市に仕事の関係で住んでいたときに、職場に日本語の先生がいたのですが、その方は日本を訪れてから接した中で一番優しくて楽しい方でした。日本で生活する上でのルールを教えてくれて、日本人の相手を想いやる心に触れた気がしました。

「東海太鼓保存会」での活動の様子▶

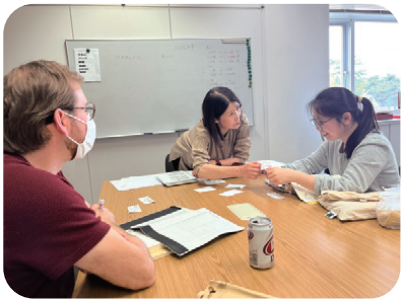
法人会員広告　楽しい部屋さがしは、ひと・住まい・みらい　㈱東海住宅へ　☎029(282)8472

Tokai JLT にほんご教室

活動内容：日本語指導、日帰りバス旅行
外国人によるスピーチショー等
活 動 日：毎週火・水・金・土曜日
（活動場所は曜日によって異なります）

Q 「Tokai JLT にほんご教室」を始めたきっかけは何ですか。

A 活動を始めたのは今から30年以上前です。外国人の主婦の方が、買い物や子ども連れで病院に行ったときに、症状の説明をどのように伝えれば良いのか分からず困っていたため、お手伝いしたことがきっかけで、日本語を教えるボランティア活動を始めました。



Q 全く日本語が分からない外国人とどのようにコミュニケーションをとるのですか。

A 多くの場合は英語が共通言語となるので、英語でコミュニケーションを取りますが、英語が通じない場合もあります。そのときには、身振り手振り・飛んだり跳ねたりのボディランゲージでコミュニケーションを取ります。

Q 活動の中で、心に残っている経験はありますか。

A 日本の文化が大好きなフランス人の生徒が「結婚式を神前式でやりたい」と言ったとき、日本での生活や文化に触れ、自分たち日本人でもなかなか経験できないことを、人生の大切な節目に選んだことに感激しました。

Q 多文化共生社会をつくっていくために、皆さんに伝えたいことはありますか。

A 活動の中で、世界の多様性や異文化への理解を深めることを目指し、「イッツ・ア・スモールワールド」を歌っています。生徒はさまざまな国の方々がいて、私たちの活動は小さな世界を体現できていることを幸せに感じています。それぞれの国の文化や習慣・宗教などを否定せず、認め合うことです。私たちの活動は特別な活動ではありません。外国人と日本人という壁を作らずにコミュニケーションをとってほしいです。

（取材日の金曜日の活動場所：JAEA）

参加者募集

「初級日本語ボランティア養成講座」を開催します

講師の先生を招き、外国人に日本語を教えるボランティアを養成する講座を開催します。詳細は下記までお問い合わせください。

日　程：6月14日・21日、7月5日・26日、8月9日・23日（全て土曜日）
時　間：午後1時から4時まで　　**場　所**：中央公民館（7月5日のみ総合福祉センター「絆」）
参加費：無料　　**対象者**：日本語指導に興味がある方
問い合わせ：Tokai JLT にほんご教室 菊池（きくち） 春美（はるみ）　☎090-4846-1702　✉jlt.kikuchi@gmail.com

法人会員広告　特殊キー、スペアキーの作成いたします　橋本機工金物㈱　☎029(282)1010

かけがえのない一人ひとりの想いと行動を紡ぐまちづくりを目指して

～令和7年度村社協の取組みを紹介します～

会長あいさつ

令和7年度の年度冒頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

本会は、地域福祉における中核的な役割を担っており、誰もが支え合いながら安心して暮らすことができる地域社会づくりを推進することを使命としております。

今年度については東海村の地域福祉を推進するための5か年計画である「第5次東海村地域福祉活動計画」の3年目の年となります。これまでの進捗状況や課題を整理しながら、活動成果や現状を評価し見直しを図ってまいります。

地域資源を活用しながら計画を効果的に運用し、さらなる福祉の向上を目指し取り組んでまいりますので、引き続き、皆様のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

社会福祉法人 東海村社会福祉協議会　会長　**中村　正美**

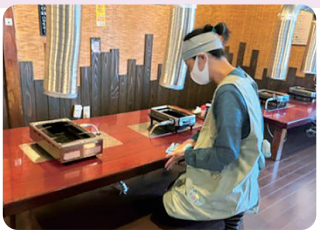
令和7年度の重点目標

1 地域づくりと地域福祉人材マッチングの促進

地域づくりの推進にあたり、地域に住むさまざまな住民（個人・団体）が、世代や領域を超えて交流し、つながりあえる場や機会の創出を目指します。既存の地域活動や地域資源同士の連携促進を図りつつ、地域にまだない資源については新たに開発を行いながら、参画の場・機会をコーディネートします。

▲児童センター高校生ボランティア

▲サロン訪問で生活課題のヒアリング



▲就労体験等による参加の場づくり

▲地域で活躍するスマホサポーター

2 参加支援の協働と場の拡充

支え手と受け手に分かれず誰もが役割を持ち、協働して参加できる機会づくりと、福祉人材の発掘・育成による多様な社会参加や参加の機会（場）を生み出すために、地域住民や関係機関と連携した取組みを行います。

3 誰ひとり取りこぼさない相談支援とアウトリーチ※

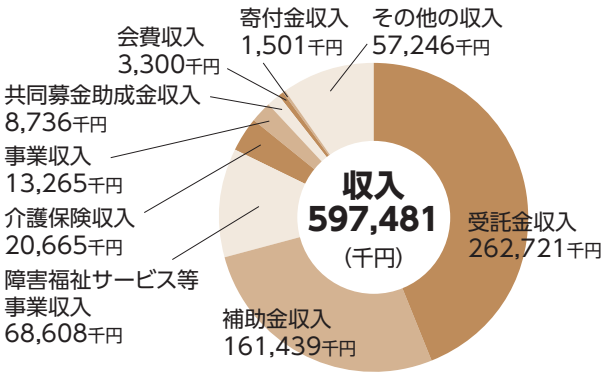
複合的な課題を抱える世帯や自らSOSを出せない世帯に対し、さまざまな関係機関や住民との連携を図り、地域生活課題に応えるアプローチ・支援を展開します。

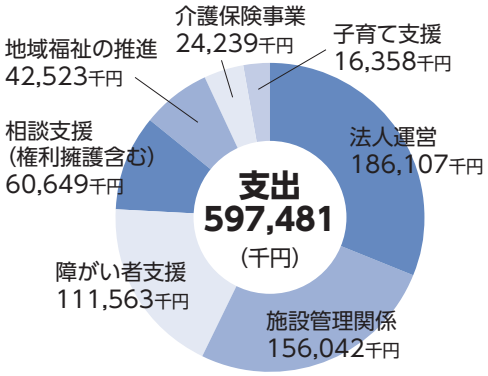
※アウトリーチ…英語で「手を差し伸ばす」という意味。潜在的なニーズを抱える人に手を差し伸べ、課題の解決や自己実現に向けた積極的な支援を行うこと

▲ボランティアによる冬休みの宿題のお手伝い

▲猫の繁殖を抑える活動のサポート

令和7年度予算





問い合わせ／企画総務係　☎(282)2804

法人会員広告　地域に愛されて創業110年、安心の国産畳100%の店。㈲高野好見畳店　☎029(282)2880

「食堂きずなえび」大人気！

3月24日、総合福祉センター「絆」に「合同会社ともす」が運営する「食堂きずなえび」がオープンしました。

生パスタを使った「パスタセット」や「ラーメン」「うどん」「日替わり定食」の他、がっつり食べたい方向けの「ローストビーフプレート」「マッスルプレート」、子ども向けの「お子様プレート」など幅広くメニューを展開しています。お支払いは現金の他、クレジットカードやバーコード決済も利用できます。皆さまお誘い合わせのうえ、お越しください。

営業日 月～金曜日（祝日除く）　**営業時間** 午前11時～午後3時（ラストオーダー 午後2時）

問い合わせ／食堂きずなえび　☎029（357）8060

令和7年度上半期　送迎車で「絆」に行こう！ 利用者募集

自家用車等の交通手段がなく、外出が難しい方の自宅（施設）まで送迎車が迎えに伺います。「絆」では、入浴や食事、カラオケなどをお楽しみいただけます。ぜひお気軽に送迎車をご利用ください。利用料は無料です。

期　日

4月1日・15日、5月13日・27日、
6月10日・24日、7月8日・22日、
8月5日・19日、
9月2日・16日・30日（全て火曜日）

対　象

村内在住で、日常生活が自立している方。
サービス付き高齢者向け住宅やケアハウス等に入居されている方も歓迎します。

- 65歳以上の高齢の方
- 子育て中の方
- 免許を返納された方
- 障がいをお持ちの方 など

利用の流れ

①午前10時から順次、ご自宅（または施設等）にお迎えに行きます。
②「絆」到着後は、自由にお過ごしください。
③午後2時に「絆」を出発し、ご自宅等にお送りします。

ご利用のイメージ

申し込み

期日の1週間前までにお申込ください。※先着9名

社協会員制度は支え合いの仕組み

社協会員制度は、村社協の活動理念や趣旨に対する理解を深めていただき、地域に根ざした福祉活動に参画いただく仕組みです。お預りした会費はさまざまな地域福祉活動に活用します。ぜひ、多くの住民・事業所の皆さまのご理解・ご賛同をお願いいたします。

金　額

普通会員 1口　300円以上
特別会員 1口　1,000円以上
法人会員 1口　5,000円以上

加入方法

村社協窓口（総合福祉センター「絆」）にて、**通年で納入（加入）受付**しています。自治会・直送組合に加入されている方については、各地区の自治会長・班長のご協力により、班を通して納入（加入）いただくことが可能です。

会員向けサービス

会員になると、次のような機材を無料でご利用いただけます。
イベントなどにぜひご利用ください！
※要予約・3カ月前から受付

◀イベント・レクリエーション機材
（綿菓子機・ポップコーン機
・かき氷機・ニュースポーツ等）

福祉車両・機材▶
（スロープ付小型車・ストレッチャー付きリフト車・車いす）
※車両は燃料費代実費負担

問い合わせ／企画総務係　☎（282）2804

法人会員広告　お肌のことを相談できるお店・化粧品とハーブと雑貨　鈴木ハーブ研究所　☎029（212）5225

死後の葬儀や入院時の保証をサポートします
―「とうかいライフ・エンディングサポート事業」をご利用ください ―

「身内がいないので、入院や入所をすることになっても保証人がいない・・・」
「誰も葬儀を行ってくれる人がいない・・・」
とうかいライフ・エンディングサポート事業では、そうした不安や悩みを抱える方に寄り添い、安心して年を重ねられるようお手伝いをさせていただきます。

利用できる方

以下の、すべてに該当する方が対象となります。

- ●東海村にお住まいの満70歳以上の方※1
- ●身近に頼れる親族がいないこと
- ●契約の内容を理解し、利用を希望される方
- ●生活保護を受給していない方
- ●預託金を納められること
- ●公正証書遺言※2により遺言執行者※3を定めていること

※1　同居者がいる場合は、全員が満70歳以上であること
※2・3　相談時には定めていなくても契約締結時までに定めれば大丈夫です

費　用

契約時費用　15,000円（税別）
年間利用料　10,000円（税別）
預託金　原則50万円以上

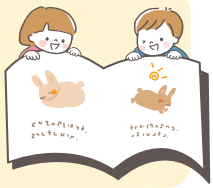
死後や入院・入所時に本人に代わって費用をお支払いするために、あらかじめお預かりしておくお金です。預託金の金額は、業者の見積もりにより契約時に決定します。

ご利用を希望する方には、ご家族の状況や葬儀・納骨の希望、リビングウィルなどについて、お話を伺います。一緒に考えながら申し込みに向けて準備を進めるために、3カ月以上かけ複数回の面談を行います。
まずは、ご相談ください。※事前にご相談予約のお電話をお願いします。

問い合わせ／生活支援ネットワーク係　☎(283)0205

「朗読ボランティア養成講座」を開催します！

朗読の基礎について学び、ボランティア活動へのきっかけとするための講座を開設します。この機会にぜひ参加してみませんか！



【期　日】8月29日(金)から10月31日(金)までの金曜日(10月10日・24日を除く、全8回)
【時　間】午後1時半から3時
【場　所】総合福祉センター「絆」多目的ホール
【対　象】村内在住・在勤の方
【講　師】林 美津子さん
(Lucky FM茨城放送 パーソナリティ)
【内　容】朗読の基礎知識習得、
実技(広報紙の読み方・絵本) 等
【参加費】無料
【定　員】20人※定員超えの場合は、抽選となります(初回受講者優先)。
【申・問】7月28日(月)までに下記へ申し込みください。

問い合わせ／地域福祉推進係　ボランティア市民活動センター
☎(283)4538

情報発信用

村社協公式LINEアカウントを開設しました

村社協からのお知らせをお届けするために情報発信用の公式LINEアカウント(アカウント名：(福)東海村社会福祉協議会)を開設しました。
友達に追加することで、村社協からのお知らせを受信できます。

友だち追加方法

①QRコードを読み取る
②ID検索で「@768qxzyt」を入力

できること

村社協や総合福祉センター「絆」に関する情報をいち早くキャッチできます。

友だち追加して、便利さを体験してください！

※すでに運用中の「東海村社会福祉協議会(相談・生活支援)」「東海村社協ボランティア市民活動センター」のアカウントは引き続き利用できます。

問い合わせ／企画総務係　☎(282)2804

法人会員広告　樹木のことお任せください。緑と共に心豊かに。　㈱橋本農園　☎029(282)2388

寄付報告（2・3・4月）

皆さまからお寄せいただいた善意は、村社協が行う福祉事業や食糧支援に役立てています。

※敬称略・順不同

善意銀行 金銭の部

ご芳名	預託金（円）
ブックオフ「キモチと。」	15,188
松本 健吾	30,000
第28回東海I～MOのまつり	70,156
㈱美豊コンサルティング	100,000
カレンダー募金	17,192
全日本年金組合東海支部	5,000
エーテック㈱	100,000
佐藤 勝廣	10,000
匿名 7名	20,108,801

ご寄付を賜りました

▲㈱美豊コンサルティング様

▲東海ライオンズクラブ様

▲エーテック㈱様

善意銀行 物品の部

ご芳名	預託品	活用先
Amazon「みんなで応援」プログラム	8件	生活支援ネットワーク係
舛井 美穂	ブロック	児童センター
工藤 奈美	紙おむつ	居宅介護支援事業所
㈱鈴木ハーブ研究所	化粧品、きんちゃく、うちわ	生活支援ネットワーク係
滝 典子	タオル、下着	生活支援ネットワーク係
東海自動車㈱	学校用品等、衣類、バッグ	生活支援ネットワーク係
髙田 理瀬	おえかき帳	児童センター
東海村北部地域包括支援センター	タオル	企画総務係
豊嶋 和子	毛糸	児童センター、障がい者センター
㈱橋本農園	樹木（センダン）2本	多目的グラウンド
石川 和子	ろくろ、陶芸用品一式	「絆」作業室
髙橋 栄子	マスク、本	企画総務係
高橋 清	ブルーシート、紙おむつ	企画総務係
河合 行子	積み木	児童センター
匿名 9件	下着、湯たんぽ、紙おむつ、シーツ、おもちゃ、絵本、生理用品、パジャマ、くつ、村内中学校ジャージ・カバン、チャイルドシート	生活支援ネットワーク係 居宅介護支援事業所 障がい者センター 児童センター ファミリーサポートセンターすくすく

使用済み切手・ベルマーク・未使用テレフォンカード・未使用はがき・書き損じはがきなど

ご芳名
千葉 翔太、日本不動産管理㈱、市毛 勝子、三国屋建設㈱東海支店、全日本年金者組合、山岸 妙美、圷 ひろみ、（特非）村松学童クラブ育成会、髙田 陽斗、髙田 理瀬、中丸小学校福祉委員会、㈱橋本農園、㈱A.I.P　水戸オフィス、㈱葵テック、エイ・ティ・エス㈱、東海MMC、橋本機工金物㈱　匿名（19件）

フードバンク

ご芳名
東海ライオンズクラブ、建築工房佐藤、佐藤 昌男、㈱カーブスジャパン、ヨークベニマル、佐藤 房明、安 節子、㈱鈴木ハーブ研究所、益子 久子、村松地区自治会、やまなか菜園 萩谷、宮内米穀店、きずなBOX（役場・商工会・絆）　匿名（16件）

寄付を募集しています！！

※ご寄付いただける場合は、事前にご連絡ください。
※事前に連絡がない場合、直接お持ちいただいてもお受けできないことがありますのでご了承ください。

募集内容	希望部署
●ビーズ ●リボン ●本（幼児・小学生向け） ●リカちゃん人形の服 ●リカちゃんハウス ●アンパンマンのおもちゃ	児童センター
●バスタオル ●アイロンビーズ	障がい者センター
●野球セット（グローブ・ゴムボール）	企画総務係
●おもちゃ（幼児向け） ●トランプ、ウノ等のカードゲーム ●ボードゲーム ●子ども用野球グローブ ●サッカーボール	地域福祉推進係

募集内容	希望部署
●スウェット（大人用未使用品） ●パジャマ上下（大人用未使用品） ●生理用品（未開封）　●バスタオル（新品） ●運動靴（ひもなし・未使用） ●子ども用紙おむつ（Lサイズ以上） ●冷風機　●FAX付き電話機（家庭用） ●自転車（大人用で状態が良いもの※防犯登録の解除をお願いします） ●刈払機　●東海南中学校ジャージ・指定カバン ●電子レンジ　●電気ケトル ●猫用キャリーケース（持ち運び可能で状態が良いもの）	生活支援ネットワーク係
フードバンク ※未開封で賞味期限が2カ月以上残っているもの ●米（もみ付き）　●調味料　●カップ麺 ●インスタント食品・レトルト食品 ●ギフトパック（お歳暮・お中元など）	

「フードバンク」とは、いただき物や買いすぎてしまったものなど、ご家庭に眠っている食品を集め、食の支援を必要としている方へお渡しし有効に活用する活動です。

問い合わせ／企画総務係　☎（282）2804　←メールはこちらから

法人会員広告　安全・迅速・快適がモットーです。　㈲常東タクシー　☎029（282）2595

相談窓口 あなたの悩みをお聞きします

総合相談

●**日　時**：月～金曜日
午前8時半～午後5時15分

●**相談員**：社協職員、社会福祉士等
弁護士・行政書士

●**会　場**：「絆」相談室

生活上の心配ごとや困りごとについて相談に応じます。電話・匿名での相談も可能です。

※行政書士・弁護士などによる専門相談は事前予約が必要です。

LINE相談

●**日　時**：（相談受付）随時
（返　　信）月～金曜日
午前8時半～午後5時15分

●**相談員**：社協職員、社会福祉士等

直接話しづらい方や家族に相談内容を聞かれたくない方は、LINEでの相談に応じます。QRコードからご登録ください。

就労体験相談会

●**日　時**：第4木曜日
午後1時半～3時半

●**相談員**：下記NPO法人職員

●**会　場**：「絆」ボランティア室

ひきこもりがちな方の就労や社会参加に向けた相談に応じます。事前予約が必要です。

予約申込み
茨城NPOセンター・コモンズ
☎(291)8990

申込み・問い合わせ／生活支援ネットワーク係　☎(283)0205

絆ゆいまるまつり（ふれあい福祉まつり）を開催します！

KIZUNA ゆいまるまつり

これまで2年に1度開催していた「ふれあい福祉まつり」をリニューアルし、新たに「絆ゆいまるまつり」という愛称になりました。今回の「絆ゆいまるまつり」は、お祭りに参加した団体・企業や来場者の方がかけ合わさり、すてきな想いや行動が結ばれる（つながれる）お祭りとなっています。さらに、そのつながりが、「絆ゆいまるまつり」だけではなく、他の活動やイベント等につながっていくことを願い開催されます。

今回は“かけ合わせ”や“コラボレーション”を1つのキーワードにしています。参加する団体・企業同士のコラボレーションもあります。詳細は、5月25日発行の本広報紙と同日配布のチラシをご確認ください。皆さまのご来場をお待ちしています。

●**開催日時**：令和7年6月7日(土)
午前10時～午後3時

●**会場**：総合福祉センター「絆」

●**内容**：ボランティア団体や企業等による体験・展示ブース
物販ブースの出展
ボランティア団体によるステージ発表

※荒天時は翌日に順延になります。
※「絆ゆいまるまつり」当日は、総合福祉センター「絆」は臨時休館となり、入浴施設や筋力トレーニング室の使用はできませんので、ご注意ください。

▲前回開催時の様子

問い合わせ／ふれあい福祉まつり実行委員会事務局（地域福祉推進係）　☎(283)4538

発行
社会福祉法人 東海村社会福祉協議会
〒319-1112　東海村村松2005
Tel. 029(282)2804　Fax. 029(283)4535
社協だよりは、共同募金の助成金により年に4回発行しています

follow me!